

# GEN AGM の日本開催及び

## エコマーク 20 周年東京シンポジウムの実施計画について

### (1) GEN AGM の日本開催について

#### 1. 開催の背景

AGM は、世界の 3 つのエリアの持ち回りで行っており、今回はアジアエリアでの開催にあたる。そこで、日本のエコマーク事業が 1989 年の設立以来 20 周年を迎えるにあたり、周年事業として、AGM の日本開催を、BOD Meeting 及び AGM で提案、可決の運びとなった。AGM の開催場所は、毎回東京だったので、今回は関西エリアにて実施し、日本の企業経営の第 2 の都市を PR すると共に、日本文化を体験することで、環境に配慮した文化の育成も理解してもらおう。

#### 2. GEN(Global Ecolabelling Network)について

○ GEN(Global Ecolabelling Network 世界エコラベリングネットワーク)の設立は、1994 年で、タイプ I 環境ラベル(※1)運営団体で構成される非営利団体である。日本のエコマーク事務局より呼びかけて組織の発足となり、2008 年 7 月現在、27 組織団体が加盟している。(※2)

※1 タイプ I 環境ラベル ISO14024 「環境ラベル及び環境宣言－タイプ I 環境ラベリング－原則及び手順」に準拠した運用で、第三者が『資源の採取から廃棄まで』全ライフサイクルにおける環境影響を一定の基準に基づいて認定する。

※2 27 組織団体の概要は、別紙参照。

○ 設立の目的 ⇒ 製品やサービスのエコラベリングを改善、促進、および策定である。

○ 活動の役割は、以下の内容を改善、促進、および策定することによって、メンバー、団体、他のエコラベリング・プログラム／構想、他の利害関係者、および一般市民を支援する。

- ・製品やサービスのエコラベル表示
- ・全世界のエコラベリング・プログラムの信頼性
- ・全世界からのエコラベリング基準に関する情報の入手性
- ・メンバー、団体、およびその他のエコラベリング・プログラムの中で、エコラベル表示についての協調、情報交換、および調整を促すこと。
- ・エコラベリング基準に関する情報にアクセスしやすくすること。
- ・国際的な組織に参加してエコラベル表示を推進すること。
- ・より環境に責任を持てる製品やサービスの需要と供給を奨励すること。

※ 現在、UNEP(国連環境計画)との意見交換も実施されている。

○ 運営体制は、7 名の BOD(Board of Director)と、運営事務局(Secretariat)、総務事務局(GAO)の 9 名である。日本は運営の総務事務局、監査人として活動している。会議体制は、年に 1 度の役員会(BOD Meeting)と全体総会(以下 AGM Annual General Meeting)を開催している。過去の AGM

の実施状況は、ヨーロッパエリア、アメリカエリア、アジアエリアの持ち回りで開催している。

年	開催場所	地域	年	開催場所	地域
1995	ギリシャ キプロス	ヨーロッパ	2002	台湾 台北&花蓮	アジア
1996	ブラジル サンパウロ	ヨーロッパ	2003	チェコ プラハ	ヨーロッパ
1997	日本 東京	アジア	2004	日本 東京&仙台	アジア
1998	ドイツ ベルリン	ヨーロッパ	2005	ニュージーランド ウェリントン	オセアニア
1999	カナダ オタワ	北米	2006	韓国 ソウル	アジア
2000	タイ プーケット	アジア	2007	スウェーデン ルンド	ヨーロッパ
2001	ノルウェー オスロー	ヨーロッパ	2008	カナダ オタワ	北米

### 3. AGM 2009 開催の概要

プログラムの骨格は、例年の会議次第を参考として準備中。詳細は4月下旬のBOD会議（ウイーン）で協議する予定。

日程	内容	開催場所(予定)
11月14日(土)	事務局関係者移動日、GEN AGM 準備	神戸ベイシェラトンホテル
11月15日(日)	GEN AGM 準備 BOD メンバー入国	神戸ベイシェラトンホテル
11月16日(月)	<b>BOD MTG</b>	<b>神戸ベイシェラトンホテル</b>
11月17日(火)	<b>AGM セッション</b>	<b>神戸ベイシェラトンホテル</b>
11月18日(水)	ソーシャルデー (エクスカージョン)	神戸ベイシェラトンホテル 大阪 ATC、京都、大阪 etc . . .
11月19日(木)	<b>AGM ワークショップ</b>	神戸ベイシェラトンホテル
11月20日(金)	<b>BOD MTG</b> <b>BOD メンバー帰国</b>	神戸ベイシェラトンホテル
11月21日(土)	事務局残務整理	神戸ベイシェラトンホテル

## (2) エコマーク 20 周年シンポジウムについて

### 1. エコマーク 20 周年シンポジウムの目的

#### ① 国際的な環境情報の発信

GEN AGM ではアジアを結集した環境情報を発信していく一方、東京シンポジウムでは欧米の環境ラベルの政策及び低炭素社会の構築に向けたカーボンラベルとしてのタイプ I ラベルのあり方などを意見提案していくことにより、国際的なバランスを配した環境情報の発信と、国内におけるエコマーク事業の重要性及び影響力の拡大をねらう。

#### ② 東京開催による全国的な情報発信の網羅

東京におけるシンポジウムの開催により、全国的な情報発信を目的とする。

#### ③ 全てのステークホルダーを対象とし、エコマーク(環境ラベル)による消費行動の促進

消費者、事業者、自治体、識者にタイプ I 環境ラベルの特徴を認知・理解してもらうことにより、低炭素社会の為の消費行動(グリーン購入)を促進させ、実働させるきっかけを与える。

## 2. エコマーク 20 周年シンポジウムの開催概要(案)

- 日程 ⇒ 2009 年 11 月 13 日(金)
- 時間 ⇒ 14:00~17:00 (13:30 開場)
- 場所 ⇒ 国連大学 (青山) ウタントホール (予定)
- プログラム内容
  - ・ 基調講演
  - ・ パネルディスカッション  
コーディネーター 調整中  
パネラー ⇒ ヨーロッパのエコラベル団体を中心に検討中
  - ※ パネラーの選定などについては、国連関係者などの選定も検討中。
- 参加対象者 ⇒ 事業者、自治体、消費者団体、各大学関係者、学生、その他
- その他
  - ・ 会場の設営などによるが、パネラーが所属している認証機関の概要を紹介するパネルや、パンフレット、認証商品などを展示し、各国の商品市場の拡大や基準内容や認証方法などを紹介して、参加者に理解してもらう。

以上